

人とよりよい関係を築くために

いのちの校長講話

～「あいさつ」と「スマイル」そして「スマイルロード」～

梅雨に入り、6月もまもなく終わり7月を迎えます。道ばたのあじさいの青や紫の花が雨粒にぬれ、とてもきれいです。

3年前のちょうど今頃の出来事です。朝のゴミ出しのため、近くのゴミステーションに向かった時、前からヘルメットをかぶり自転車に乗ってくる一中の男子生徒が見えました。すれ違う直前、その生徒は大きな声で、「おはようございます！」と私にあいさつをしてくれたのです。私は、「はっ！」とさせられて、「おはよう」と返しました。それまで一中の生徒とは、あまり会うことはなかったのですが、見ず知らずの私にあいさつをしてくれたので、とてもうれしくなり、その日一日を幸せな気持ちで過ごすことができました。その気持ちを、何とか伝えたいと思い、当時の一中の田中教頭先生に電話をし、この出来事をお話ししました。田中教頭先生は、「褒めて頂きありがとうございます。一中の生徒は、みんな頑張り屋で立派なのです。」と教えてくれました。それが、3年前の出来事です。



私たちは、多くの人との関わりの中で生活しています。家族や友達、先生方や地域の方、仕事に就けば職場の同僚など、色々な人と接して生きていきます。そのときに、良い関係をつくる簡単な方法が二つあります。

一つ目は、「あいさつ」です。様々な場面で、あいさつを自分からしっかりすることで、「する方」も「される方」も気持ちよくなるものです。あいさつには、嫌な気持ちや暗い気持ちを、吹き飛ばす力があります。あいさつを続けることによって、勇気が湧き、自信も湧いてくるものです。最初は意識しますが、やがて無意識に身についていきます。もうすでに身につけている人もたくさんいます。一中生全員がしっかりとあいさつができる人になってほしいと願います。

二つ目は、「スマイル・笑顔」です。笑顔は、気持ちを穏やかに、さらに気持ちを前向きにさせてくれます。笑顔を見た人も、幸せな気持ちややさしい気持ちになります。笑顔は、あいさつと密接に関係しています。暗い顔であいさつをする人はあまりいません。あいさつをすると、自然に笑顔が増えてきます。笑顔でのあいさつは、人間関係を良好に保つ「最強の武器」になります。1日にあいさつをする機会はたくさんあります。「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」「さようなら」「行ってきます」「ただいま」「はじめまして」「よろしくお願いします」「ありがとう」などなど。そのとき、その場所で使いわけながら、笑顔であいさつを試みましょう。思い立ったら、すぐ始められるのもあいさつの良いところです。多くのあいさつがいつも響き、笑顔あふれる学校それが一中です。

さて、皆さんも気づいていると思いますが、校舎の北側の歩道を「躍進一中 Flower スマイルロード」と名付けて看板を設置し、プランターの花を置きました。看板には、美術部のみなさんが描いてくれた絵を、プランターの花は、美化・環境委員のみなさんが植えてくれました。毎日の水かけも、環境委員や外掃除のみなさんが交代やってくれています。このスマイルロードは、一中生全員が、登下校で通る道です。自転車で、徒歩でこの道を通るとき、今日一日の楽しいことや、友達と会える楽しさを思いながら、又は学校が終わっての充実感にあふれ、みんなが笑顔で通れる道になることを願っています。みなさんの力で、本当の意味の「スマイルロード」にしてください。

地域やみなさんのお家の人が、「一中は笑顔がいっぱいだね」「みんな楽しそうだ」といわれるような学校生活、そして一中を目指しましょう。生徒会でも、「スマイル大作戦」ということで、クラスの「プライド」を高め合う取り組みを計画しています。大変良いことです。みなさんが自主的に学校生活を高ようとする取り組みは、素晴らしいです。一中は、みなさんの力でますます良い学校になるようです。楽しみです。がんばりましょう。

本多さんのお話や、実際の事件を基にした再現ドラマの視聴を通して、情報の「送り手」と「受け手」の両方の役割を持つようになるこれからの情報社会において、お互いに被害者にも加害者にもならないよう、「『心』と『知恵』を磨く時間」となりました。

今後も、ご家庭や地域との連携を図りつつ、「情報モラル」を身につけさせる指導を、今後も適切に行って参ります。

□ワックスがけ（6/21）

生徒会美化委員会（渡邊桃羽委員長）の皆さんが普通教室と特別教室棟の廊下にワックスがけを行いました。教室内の机・椅子等の備品を全て廊下に運び出した後、丁寧に床拭きの上、ワックスがけを行いました。

教室、廊下が大変きれいになりました。学習にも、より集中して取り組めそうです。



□第2回 校内授業研究会（6/26）

教育委員会等の外部講師の先生方をお招きし、第2回校内授業研究会を開催しました。特に、3年6組の道徳「銀メダルから得たもの」については、会場を教室から「多目的ホール」に移し、全職員が参観して研修を深めました。授業では、元レスリング女子日本代表の吉田沙保里さんの話を通じ、物事に対する真剣な態度、本気の姿勢を学びました。生徒たちは、吉田選手の考え方や生き方を自分自身に重ね合わせることで、

“本気”の尊さを深く理解し、実践しようという考えを養うことができました。

今後も全職員で、主体的・協働的な学びによる「深い学び」の実現に向けた授業改善を目指して、研修に努めて参ります。



□プール開き（6/27）

令和元年度の「プール開き」が行われました。水泳部長の高橋美羽さんは、「（他校にはほとんどない）

『50m プール』で練習できることに感謝しながら、県大会に向けて練習に励みたい。」と決意を述べてくれました。来週以降、各学年の保健体育でも、順次水泳の授業が始まります。安全で安心な水泳の授業に努めて参りますので、お子様の朝の健康観察や「水泳カード」へのサイン（押印）をお願いします。



栄光の記録

◆全日本剣道道場連盟「剣道少年団表彰」(H31.3.1)

少年団活動を積極的に行った団員 中田歌穂, 中田喜子

(*第41回東北地区剣道少年団研修会山形県選考会で, 優秀な成績を収めたことによる。)

◆第50回 山形県少年剣道錬成大会 (R元5.19)

中学校女子2組 第3位 東根市立第一中学校

◆最北地区中学生ソフトボール大会 (R元5.19)

Aブロック 第2位 東根市立第一中学校

◆第7回宮川杯 山形・新潟バスケットボール交流キャンプ (R元5.19)

山形県チーム(男子)の部優勝 東根市立第一中学校

◆第74回 国民体育大会新庄地区予選会 (R元.6.8)

ソフトテニス少年男子 第3位 青野圭祐・奥山文誉ペア

